

東広島市立美術館と広島市現代美術館のコレクションから約30点の作品がコラボ展示!



どこがて?ゲッピ

東広島市立美術館・
広島市現代美術館 合同企画
コレクション展第IV期

びじゅつの



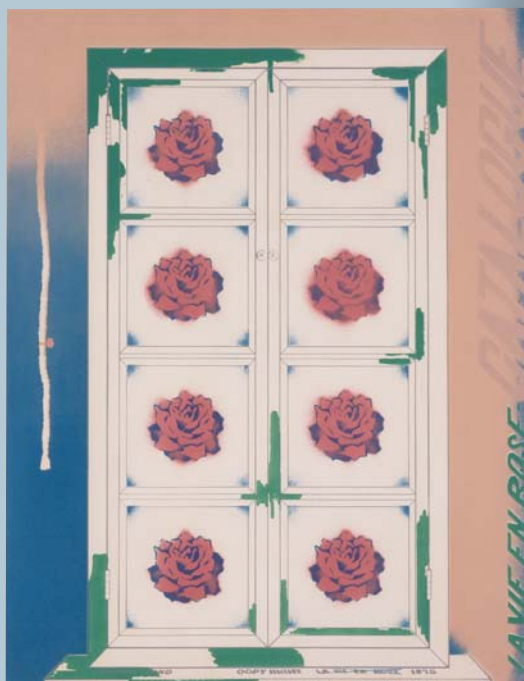
三宅一生
《フライング・ソーサー》
1993/1994
広島市現代美術館蔵

謎



加納光於、大岡信《アララットの船あるいは空の蜜》1971-72
広島市現代美術館蔵

をあそぶ。



井田照一《LA VIE EN ROSE-FRESH WIND》1973 東広島市立美術館蔵

2022
12.8 THU
2023
1.15 SUN

展

びじゅつの謎をあそぶ。展

美術のさまざまな「?」をあそびの視点から楽しめば、作品の新たな見方や身近な魅力に気がつくかもしれません。

● 出品作品やイベント等の詳細な情報は、東広島市立美術館のウェブサイトでご確認ください。 <https://hhmoa.jp/>



東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

〒739-0015 東広島市西条栄町9-1 Tel 082-430-7117

会場/東広島市立美術館 2F展示室 開館時間/9:00-17:00(入館は閉館30分前まで) ※12.23(金)は19:00まで開館 休館日/月曜日(1.9成人の日は開館、1.10が休館)、年末年始(12.28-1.4) 観覧料/一般300(240)円、大学生200(160)円*、高校生以下無料* 主催/東広島市立美術館、広島市現代美術館 ※学生証をご提示ください。()内は20名以上の団体料金 ● 後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、無料でご観覧いただけますので、受付で各手帳等(スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用可能)をご提示ください。

どこかで?ゲンビ

DOKOKADE GENBI

広島市現代美術館は、2020年12月からの大規模改修工事ともなう長期休館中もさまざまな活動をくり広げています。

「どこかで?ゲンビ」もそのひとつ。「まちのどこかで、あなたとゲンビが、ふとであう」をキャッチコピーに、市内の文化施設や美術館、学校などさまざまな場所で、サテライト展示を実施してきました。



●上|広島市立段原小学校での展示・活動(2021年3月~2023年1月)/岡本敦生《CRUST-cocoon 97-2》 ●左下|5-Daysこども文化科学館(2021年11月)での展示/福田繁雄《凸面鏡に映ったミロのヴィナス》等 ●右下|広島県立美術館での展示(2022年7月~12月)/フェルナンド・ボテロ《小さな鳥》

広島県立美術館と広島市立美術館を会場にした2つの合同展も「どこかで?ゲンビ」の一環です。それぞれの会場でコラボ展示されるコレクションをどうぞお楽しみください。

COLLECTION EXHIBITION +

ケンビと ゲンビの 作品を 並べたら、 美術に ついての 疑問が 解ける かも展



秋の所蔵作品展
+
フェリス

広島県立美術館・広島市現代美術館合同企画

草間彌生
《私の犬のリンリン》2009
広島市現代美術館蔵
画像提供:KDDI株式会社



近代美術と
現代美術は
どう違うの?

美術=美+術?



《伊万里柿右衛門様式色絵馬》
17世紀後半
広島県立美術館蔵

2022 10/29 Sat ▶ 2023 1/22 Sun

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

【開館時間】9:00~17:00(金曜日は19:00まで開館)※入場は閉館の30分前まで 【休館日】月曜日(ただし1/2、1/9は開館)※年末年始(12/25~1/1)は休館

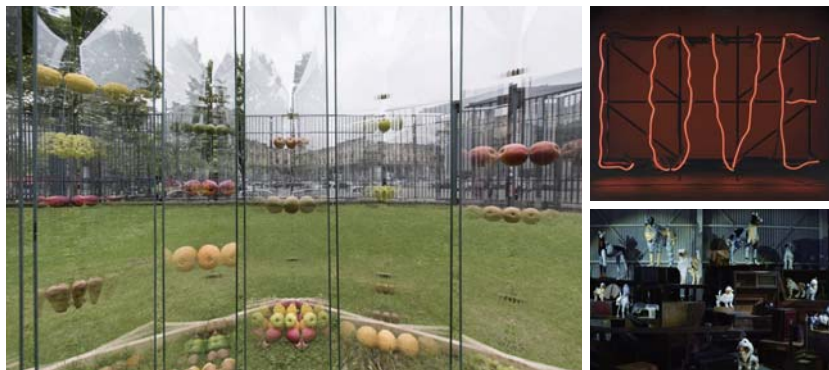
【入館料】一般510(410)円/大学生310(250)円 ※()内は20名以上の団体 【縮景園共通券】一般610円/大学生350円

※高校生以下無料 ※当館で開催中の特別展入館券にて無料でご覧いただけます。学生券を御購入・御入場の際は、学生証の提示をお願いします。

※身体障害者手帳をお持ちの方や65歳以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料(証明書をご提示ください)。

【主催】広島県立美術館、広島市現代美術館

●詳細は広島県立美術館のウェブサイトでご確認ください。https://www.hpam.jp ▶



リニューアルオープン記念特別展

Before/After

会期 2023年3月18日(土)~6月18日(日)

会場 広島市現代美術館

2023年3月18日、広島市現代美術館はいよいよリニューアルオープンを迎えます。

記念特別展は「Before/After」。美術館の改修工事によって生じる変化を足がかりに、たとえば経年による物質の変質、劣化、修復という美術館にとって避けられない問題や、広島県産業奨励館が被爆後にヒロシマを象徴する遺構「原爆ドーム」へと姿を変えた歴史など、様々な現象や状況の「前」と「後」に着目する展覧会です。

広島市現代美術館のコレクションを中心にしながら、若手作家7人(コウミユキ、高橋銑、竹村京、壽山凡太郎、平田尚也、横山奈美、和田礼治郎)による新作や、16年ぶりの新規購入作品となったシリン・ネシャット《Land of Dreams》、休館中に実施した活動の紹介など、全館を用いて展開します。

●上|シリン・ネシャット《Land of Dreams》2019 Courtesy of the artist and Gladstone Gallery © Shirin Neshat ●左下|和田礼治郎《禁断の果実》(部分)2016 パリ・レコレ国際センターでの展示風景 Photo: Martin Argyroglo ●右中|横山奈美《LOVE》2022 Photo: Hayato Wakabayashi ●右下|コウミユキ "Stand Up!" Series「駆け出した犬、浮遊する象」2019 瀬戸内国際芸術祭2019/小豆島・三都半島での展示風景



広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1 Tel.082-264-1121

休館中の広島市現代美術館、
いよいよリニューアルオープンへ



●詳細は広島市現代美術館のウェブサイトでご確認ください。https://renovation2023.hiroshima-moca.jp/

2023.3.18
Renewal
OPEN
Hiroshima MOCA